

## 2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 アトラグループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6029 URL <https://www.artra-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 久世 博之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田中 克典 (TEL) 06-6533-7622  
 定時株主総会開催予定日 2025年3月27日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期の連結業績 (2024年1月1日～2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	4,234	△5.9	5	△88.9	0	△98.4	△36	—
2023年12月期	4,497	△3.7	51	—	62	308.5	53	—

(注) 包括利益 2024年12月期 △29百万円(—%) 2023年12月期 54百万円(894.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	△3.59	—	△2.6	0.0	0.1
2023年12月期	5.43	—	3.9	1.3	1.1

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 ー百万円 2023年12月期 ー百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	4,114	1,436	34.9	139.83
2023年12月期	4,572	1,447	31.6	142.45

(参考) 自己資本 2024年12月期 1,435百万円 2023年12月期 1,445百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	200	△31	△259	1,049
2023年12月期	217	△11	△300	1,140

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,800	△12.3	△73	—	△76	—	△86	—	△8.38
通期	3,800	△10.3	55	867.7	50	—	26	—	2.56

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期	10,287,000株	2023年12月期	10,167,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期	20,266株	2023年12月期	20,266株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	10,223,127株	2023年12月期	9,933,692株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	1,652	△11.9	△28	—	33	△57.8	29	△65.1
2023年12月期	1,876	△1.6	8	—	78	—	85	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年12月期	2.91		—					
2023年12月期	8.57		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年12月期	3,099		1,327		42.8	129.17		
2023年12月期	3,389		1,271		37.5	125.12		

(参考) 自己資本 2024年12月期 1,326百万円 2023年12月期 1,269百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については添付資料3ページ「1 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループが属する鍼灸接骨院業界におきましては、療養費が減少傾向にあり、自費施術及び物販の拡大が課題となっております。

このような状況の下、当社グループは、各種セミナーの開催、ほねつぎチェーンの加盟院の増加、自費施術に使用する機材の販売、アトラ請求サービスの会員の増加、HONEY-STYLEの利用院の増加に取り組みました。

また、株式会社ペリカンにおいて、玩具販売の拡大に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が4,234,433千円（前連結会計年度比5.9%減）、営業利益が5,683千円（前連結会計年度比88.9%減）、経常利益が987千円（前連結会計年度比98.4%減）、親会社株主に帰属する当期純損失が36,736千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益53,966千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

#### (鍼灸接骨院支援事業)

当セグメントの売上高は2,448,393千円（前連結会計年度比10.7%減）、セグメント利益は39,730千円（前連結会計年度比56.8%減）となりました。

支援内容別の概要は以下のとおりであります。

#### ・ほねつぎチェーン

既存の鍼灸接骨院の加盟促進及び直営店の売上拡大等に注力しました。

この結果、売上高は482,642千円（前連結会計年度比9.1%減）となりました。

#### ・機材、消耗品販売

療養費が減少傾向となる中、自費施術に使用する機材の需要は拡大しております。当社グループは、アトラアカデミーにおいて、会員の増加を図っており、セミナーの開催をとおして、自費施術に使用する機材の拡販に取り組んでおります。

この結果、売上高は662,879千円（前連結会計年度比17.5%減）となりました。

#### ・アトラ請求サービス

新規開設院の入会及びA-COMSファイナンスサービス利用院の拡大等に注力しました。

この結果、売上高は544,054千円（前連結会計年度比4.5%増）となりました。

#### ・HONEY-STYLE

鍼灸接骨院のロコミ／予約システムであるHONEY-STYLEの利用院増加に注力しました。

この結果、売上高は76,824千円（前連結会計年度比19.5%減）となりました。

#### ・介護支援

ほねつぎデイサービスの加盟店開発、既存加盟店のロイヤリティ収入の拡大及び直営店の売上拡大等に注力しました。

この結果、売上高は499,931千円（前連結会計年度比11.3%減）となりました。

#### ・その他

売上高は182,061千円（前連結会計年度比20.7%減）となりました。

#### (玩具販売事業)

ペリカンにおいて、玩具・文具等の拡販に注力しました。

この結果、当セグメントの売上高は1,786,040千円（前連結会計年度比1.8%増）、セグメント損失は36,486千円（前連結会計年度はセグメント損失33,836千円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ458,301千円減少し、4,114,261千円となりました。これは主に、現金及び預金が90,051千円、売掛金が113,557千円、商品が139,383千円、建物及び構築物が53,060千円及びソフトウェアが31,481千円減少したことによるものであります。

### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ447,755千円減少し、2,677,684千円となりました。これは主に、買掛金が177,929千円、1年内返済予定の長期借入金74,754千円及び長期借入金181,778千円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10,546千円減少し、1,436,577千円となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬による新株発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ9,900千円増加したものの、親会社株主に帰属する当期純損失を36,736千円計上したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ90,051千円減少し、1,049,977千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な内訳は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、200,852千円の収入（前連結会計年度比7.8%減）となりました。主な内訳は、資金の増加要因として、減価償却費の計上154,345千円、売上債権の減少額113,705千円、棚卸資産の減少額132,547千円、資金の減少要因として、仕入債務の減少額177,929千円であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、31,160千円の支出（前連結会計年度比163.2%増）となりました。主な内訳は、資金の増加要因として、事業譲渡による収入28,822千円、資金の減少要因として、有形固定資産の取得による支出41,138千円、無形固定資産の取得による支出37,357千円であります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、259,743千円の支出（前連結会計年度比13.4%減）となりました。主な内訳は、資金の増加要因として、長期借入れによる収入100,000千円、資金の減少要因として、長期借入金の返済による支出356,532千円であります。

## (4) 今後の見通し

2025年12月期につきましては、療養費が減少傾向にある中、引き続き自費施術及び物販の拡大が接骨院業界共通の課題になると想定されます。

このような環境の下、当社グループは、自費施術を拡大することで、過度に療養費に依存しない接骨院の体制構築に貢献してまいります。具体的には、セミナーを開催し、当社グループのノウハウを提供してまいります。

ほねつぎチェーンは、自費施術及び物販の拡大を目指し、加盟開発及びコンサルティングに注力します。

アトラ請求サービスは、療養費請求に使用するシステムであるA-COMSの追加機能開発による、さらなる有効活用を促すことで会員の増加に繋げてまいります。

機材、消耗品販売は、会員向けに自費施術に関するセミナーを開催し、新規顧客の獲得及び新規導入院の増加に注力してまいります。また、鍼灸接骨院専門ECサイトであるアトラストアでは、PB商品の開発、取扱商品の拡充を図ってまいります。

HONEY-STYLEは、無料プラン利用院の増加に取り組み、オリジナルの自宅でできるセルフケア商品の販売を強化し、物販の拡大に努めてまいります。オリジナル自費施術をセットした有料プランへの変更も促し、会員接骨院の売上拡大に取り組んでまいります。

ほねつぎデイサービスは、柔道整復師が活躍できる当社独自のノウハウを武器に、加盟店の増加に努めてまいり

ます。

また、玩具販売事業である株式会社ペリカンにおいては、鍼灸接骨院支援事業で培ったリアル店舗に対する経営指導のノウハウを活かし、売上の拡大に努めてまいります。

これらのことから、2025年12月期の売上高は3,800,000千円（当連結会計年度比10.3%減）、営業利益は55,000千円（当連結会計年度比867.7%増）、経常利益は50,000千円（当連結会計年度比4,960.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は26,000千円（当連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失36,736千円）を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準による連結決算を実施しており、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,140,029	1,049,977
売掛金	438,177	324,620
営業貸付金	384,280	390,498
商品	778,454	639,070
仕掛品	5,531	2,051
その他	332,395	328,556
貸倒引当金	△541	△336
流動資産合計	3,078,326	2,734,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	132,101	79,041
工具、器具及び備品（純額）	36,955	56,103
リース資産（純額）	3,890	6,030
その他（純額）	6,185	9,796
有形固定資産合計	179,133	150,971
無形固定資産		
ソフトウェア	146,344	114,862
その他	48,890	34,155
無形固定資産合計	195,234	149,017
投資その他の資産		
投資有価証券	703,643	696,650
長期貸付金	31,578	29,414
繰延税金資産	7,666	10,196
その他	429,533	395,973
貸倒引当金	△52,553	△52,401
投資その他の資産合計	1,119,868	1,079,833
固定資産合計	1,494,236	1,379,822
資産合計	4,572,563	4,114,261
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	500,318	322,388
1年内返済予定の長期借入金	348,197	273,443
未払金	119,628	107,459
未払法人税等	30,286	25,125
賞与引当金	24,120	18,540
ポイント引当金	8,691	7,123
収納代行預り金	546,332	562,672
預り金	44,827	42,116
その他	91,368	101,814
流動負債合計	1,713,771	1,460,684
固定負債		
長期借入金	1,187,620	1,005,842
繰延税金負債	7,544	6,058
退職給付に係る負債	76,946	74,848
資産除去債務	136,949	117,869
その他	2,608	12,381
固定負債合計	1,411,668	1,217,000
負債合計	3,125,439	2,677,684

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	142,930	152,830
資本剰余金	1,573,940	1,583,840
利益剰余金	△272,791	△309,527
自己株式	△159	△159
株主資本合計	1,443,919	1,426,983
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	1,523	8,593
その他の包括利益累計額合計	1,523	8,593
新株予約権	1,680	1,000
純資産合計	1,447,123	1,436,577
負債純資産合計	4,572,563	4,114,261

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	4,497,601	4,234,433
売上原価	3,033,720	2,899,072
売上総利益	1,463,881	1,335,361
販売費及び一般管理費	1,412,653	1,329,678
営業利益	51,228	5,683
営業外収益		
受取利息	187	216
受取手数料	8,591	8,588
助成金収入	2,967	2,571
解約料収入	—	2,582
投資事業組合運用益	9,183	—
その他	5,785	3,380
営業外収益合計	26,714	17,338
営業外費用		
支払利息	14,624	13,719
投資事業組合運用損	—	7,956
その他	1,312	357
営業外費用合計	15,936	22,033
経常利益	62,006	987
特別利益		
固定資産売却益	31,500	1,143
事業譲渡益	—	5,291
特別利益合計	31,500	6,435
特別損失		
減損損失	—	26,631
固定資産除却損	18	0
固定資産売却損	0	—
訴訟費用	20,107	—
解約違約金	—	2,014
特別損失合計	20,126	28,646
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	73,380	△21,222
法人税、住民税及び事業税	24,303	20,422
法人税等調整額	△4,889	△4,908
法人税等合計	19,414	15,513
当期純利益又は当期純損失 (△)	53,966	△36,736
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	53,966	△36,736

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	53,966	△36,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	380	7,070
その他の包括利益合計	380	7,070
包括利益	54,347	△29,666
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	54,347	△29,666

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	727,347	903,663	△326,757	△159	1,304,093
当期変動額					
新株の発行	5,460	5,460			10,920
新株の発行 (新株予約権の行使)	37,470	37,470			74,940
減資	△627,347	627,347			—
親会社株主に帰属する 当期純利益			53,966		53,966
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△584,417	670,277	53,966	—	139,826
当期末残高	142,930	1,573,940	△272,791	△159	1,443,919

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,142	1,142	1,920	1,307,156
当期変動額				
新株の発行				10,920
新株の発行 (新株予約権の行使)				74,940
減資				—
親会社株主に帰属する 当期純利益				53,966
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	380	380	△240	140
当期変動額合計	380	380	△240	139,967
当期末残高	1,523	1,523	1,680	1,447,123

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	142,930	1,573,940	△272,791	△159	1,443,919
当期変動額					
新株の発行	9,900	9,900			19,800
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△36,736		△36,736
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	9,900	9,900	△36,736	—	△16,936
当期末残高	152,830	1,583,840	△309,527	△159	1,426,983

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,523	1,523	1,680	1,447,123
当期変動額				
新株の発行				19,800
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△36,736
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	7,070	7,070	△680	6,390
当期変動額合計	7,070	7,070	△680	△10,546
当期末残高	8,593	8,593	1,000	1,436,577

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	73,380	△21,222
減価償却費	140,117	154,345
減損損失	—	26,631
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,245	△356
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△960	△5,580
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13,029	△2,098
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△1,800	△1,568
固定資産除却損	18	0
固定資産売却損	0	—
固定資産売却益	△31,500	△1,143
受取利息	△187	△216
支払利息	14,624	13,719
事業譲渡損益 (△は益)	—	△5,291
売上債権の増減額 (△は増加)	△93,838	113,705
営業貸付金の増減額 (△は増加)	26,853	△6,218
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△75,954	132,547
仕入債務の増減額 (△は減少)	138,965	△177,929
未払金の増減額 (△は減少)	12,152	△28,406
預り金の増減額 (△は減少)	△1,396	△2,710
収納代行預り金の増減額 (△は減少)	34,234	16,340
その他	30,289	35,580
小計	250,722	240,126
利息の受取額	184	213
利息の支払額	△14,477	△13,356
法人税等の支払額	△18,636	△26,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	217,793	200,852
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△76,363	△41,138
有形固定資産の売却による収入	59,758	2,184
無形固定資産の取得による支出	△47,203	△37,357
投資事業組合からの分配による収入	59,923	7,000
事業譲渡による収入	—	28,822
その他	△7,953	9,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,840	△31,160

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	19,900	100,000
長期借入金の返済による支出	△390,818	△356,532
新株予約権の行使による株式の発行による収入	74,700	—
配当金の支払額	△117	—
その他	△3,730	△3,211
財務活動によるキャッシュ・フロー	△300,066	△259,743
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△94,113	△90,051
現金及び現金同等物の期首残高	1,234,142	1,140,029
現金及び現金同等物の期末残高	1,140,029	1,049,977

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

### 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「鍼灸接骨院支援事業」、「玩具販売事業」の2つを報告セグメントとしております。「鍼灸接骨院支援事業」は、ほねつぎチェーン、機材・消耗品販売、アトラ請求サービス、HONEY-STYLE、介護支援などの鍼灸接骨院支援に関する事業を行っております。「玩具販売事業」は玩具・文具等の販売に関する事業を行っております。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

### 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	鍼灸接骨院 支援事業	玩具販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,742,942	1,754,659	4,497,601	—	4,497,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79,544	—	79,544	△79,544	—
計	2,822,486	1,754,659	4,577,146	△79,544	4,497,601
セグメント利益又は損失(△)	91,994	△33,836	58,158	△6,930	51,228
セグメント資産	2,281,649	1,184,851	3,466,501	1,106,061	4,572,563
その他の項目					
減価償却費	134,155	5,962	140,117	—	140,117
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	81,703	41,864	123,567	—	123,567

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,930千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額1,106,061千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に親会社の余剰運用資金(現金及び預金)及び長期投資資金(投資有価証券等)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	鍼灸接骨院 支援事業	玩具販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,448,393	1,786,040	4,234,433	—	4,234,433
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,247	—	9,247	△9,247	—
計	2,457,640	1,786,040	4,243,681	△9,247	4,234,433
セグメント利益又は損失(△)	39,730	△36,486	3,244	2,439	5,683
セグメント資産	2,021,584	1,036,075	3,057,659	1,056,601	4,114,261
その他の項目					
減価償却費	146,836	7,509	154,345	—	154,345
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	78,495	—	78,495	—	78,495

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額2,439千円は、セグメント間取引消去であります。
  - (2) セグメント資産の調整額1,056,601千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に親会社の余剰運用資金(現金及び預金)及び長期投資資金(投資有価証券等)であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	142.45円	139.83円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	5.43円	△3.59円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—円	—円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	53,966	△36,736
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	53,966	△36,736
普通株式の期中平均株式数(株)	9,933,692	10,223,127
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2022年5月13日取締役会決議による第4回新株予約権 普通株式 2,100,000株	2024年4月17日取締役会決議による第5回新株予約権 普通株式 1,000,000株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。